

地域活動のリアル Vol.4

～みんなの実践 聴き合おう 語り合おう～

令和7(2025)年12月14日(日) 午後2時～5時 @セッション杉並

主催・お問い合わせ：杉並区立社会教育センター 03-3317-6621



社会教育士

ワークショップ概要

14:00

レクチャー
アイスブレイク

14:30

ラウンドテーブル
ミーティング

15:50

振り返り
感想の共有

16:30

交流タイム
(自由参加)

- 「ラウンドテーブルミーティング (以下、ラウンドテーブル)」という手法を用いたワークショップの4回目を実施しました。
- 様々な人とつながりながら、一人ひとりが活動へのヒントや新たな視点を得られる機会を目指しました。
- 語り手は、居場所づくり、まちづくり、芸術、防災などの活動に関わる中学生以上の幅広い世代。リアルな体験をきっかけに語り、聴き合いました。

講師 倉持 伸江先生
(東京学芸大学総合教育科学系准教授)

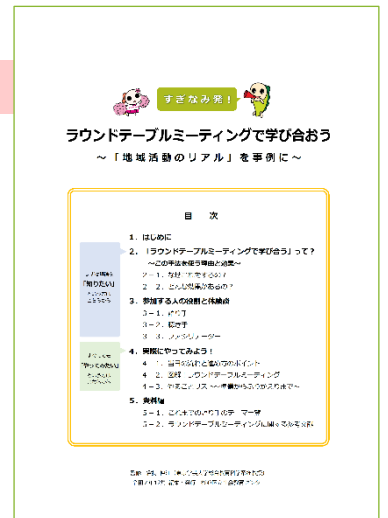
参加者数 44名
(主に区内で活動をしている方・区職員など)



ラウンドテーブルの取り組み

ラウンドテーブルの詳細は 小冊子をチェック！

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/7884/roundtablemeeting-resources.pdf>



【事例報告のテーマ】

- 公共ホールとは。
- つながりのその先へ
- 地域だんらん食堂 アッサ・ガーヤ
- これからの自治会～活動と対価に見える楽しさ～
- 皆川米店を通して馬橋の文化やお餅の事を知ってもらいたい
- 1つ1つを、1人1人を大切にする「1つだけ美術館 Tokyo 阿佐ヶ谷」をみんなで育てたい
- 「チャリティー」でつなげる？杉並チャリティーウォークと杉並チャリティーウォーク助成
- まち歩きと軒先交流を組み合わせた住民参加型イベント「軒先から、こんにちはナリタヒガシ」
- 「絵をみて話そう！」…対話型アート鑑賞を通して地域コミュニティの活性化に貢献したい
- 駄菓子屋は「まち」の入り口！～こどもが主役になる「すぎなみキッズタウン」と多世代の居場所づくり～
- 町のシェアカフェで行う、インフォーマル・アドボカシーの試み
－阿佐谷「イネル」を窓口にした子どもの意見表明支援－
- 20代30代と地域をつなぐ
- ボードゲーム、多世代交流
- 地域のおまつり、だれがやってるの？

参加者の感想



語り手

- 自分の活動話すことで、今まで気付かなかった点、目的のあいまいさや杉並区で活動する意義などを見つめ直すきっかけとなりました。
- 活動に対する「熱量」について、具体的には拡大していくか維持していくか、自分自身では気づかなかったことをフィードバックいただけて、優しい聴き手の方々で大変有り難かったです。
- 語り手として準備する過程が、活動を振り返る機会となりました。(中略) 同じ活動毎に知識を深めたり、活動を共有する機会は多々ありますが、全く背景の異なる方の経験や考えを聴く機会は少ないため、大変面白かったです。



聴き手

- どのような集まりなのか？気になりながら参加しました。地域で活動されている方の実体験などをリアルに聞くことができ良かったです。
- 今後地域で何か活動に参加したいと思っておりますので地域の様々な活動を知ることができ、大変ためになりました。まずは今回参加された方の活動のお手伝いからしてみようと思いました。
- 学生の立場で、聴き手として参加しましたが、運営している方々ならではの視点、意見がたくさん出ておもしろかったです！
- 限られた時間の中で限定したメンバーで話されるため、想像以上に話が盛り上がり、新たなつながりや発見が出来たのが良かったです。



ファシリテーター

- ファシリテーターを初めてやってみて、話を聴く、時間を管理する、とやることが多くて大変でした。
- (ワークショップの) 回を重ねるごとに、参加者の幅が広がり、聴き合いもいろいろな視点が変わって面白くなっている気がします。

参加して
見つけた
つぎの
いっぽ



- ラウンドテーブルを使えば、これまでに考えてきたプランができるのではと手応えを感じた！
- 同じ活動ジャンルでも多様な価値観やテーマにメンバーの気持ちがまとまらない…ラウンドテーブルが相応しいかわからないけれど、やってみようと思う！
- 普段携わっている子育て関連の事業に生かせるアイデアが生まれました！
- 話し手の活動の場などを訪問し、可能なら支援や協働をしたいと思った！
- コミュニティを広げる手法とヒントを得られました！
- 社会教育士を取得したいです！

交流タイム (みんなの掲示板)

- 個別に交流するほか、参加者が話したいテーマを持ち込んでブースをつくりました。参加者同士が熱心に話し合い、つながれる機会となりました。
- ブースのテーマには、従来の支援枠組みからはみ出し孤立してしまう人たちへのアプローチの仕方、チャリティーのアイデア募集、社会教育士ミートアップなどがありました。
- 交流のきっかけとなるよう、参加者の活動案内やチラシ、語り手の事例を紹介するスペース「みんなの掲示板」を設置しました。お互いに声をかけ合いながら情報交換をしました。



特別企画 社会教育士ミートアップ

「社会教育士の称号をお持ちの方」「社会教育主事講習(養成課程含む)を受講中の方」「称号取得を考えている方」で交流の時間をつくりました。

当日の様子はこちらから →

